

メタラクトH15			METALACT H15	
一般名称	エッチングプライマー			
適用規格	JIS K 5633:2002 2種 エッチングプライマー2種			
系統	ビニルブチラル樹脂系長ばく形エッチングプライマー（2液形）			
主な用途	【橋梁用】	【電力・プラント用】	【鉄塔・鉄骨用】	など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	○	×	×	×
特長	1)速乾性で、ショップコートとしてのライン適性が優れている。 2)各種油性、フタル酸樹脂系さび止め塗料が上塗りできる。 3)上塗り塗料との付着性が優れている。 4)溶断・溶接性に支障がない。			
塗料性状	塗料密度(比重)	0.93		
	溶剤密度(比重)	0.82		
	加熱残分	23%		
法令など	主剤		添加剤	
	劇物表示 (品名・含有率)	四塩基性クロム酸亜鉛 3.9%		—
	労安法上の 表示有害物	イソプロピルアルコール、 キシレン、トルエン、 1－ブタノール、メタノール、 四塩基性クロム酸亜鉛		イソプロピルアルコール トルエン
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等		第2種有機溶剤等
	消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)		第1石油類(非水溶性)
	硬化剤の成分 による区分	—		
	ホルムアルデヒド 放散等級	—		
	製品情報	主剤		添加剤
荷姿	16Kgセット 4Kgセット	12.8Kg 3.2Kg	3.2Kg 0.8Kg	
混合比(重量比)	主剤:添加剤＝80:20			
主な色(色相)	暗緑色 35－30Bやや青味近似			
※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。				
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○ブラストにより、錆・ミルスケール・脆弱な塗膜は除去する。(ISO Sa2 1/2)			
使用方法	調合方法	主剤に対して添加剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち使用する。		
	熟成時間	5～10℃の場合は10～15分間(10℃以上は不要)		
	使用シンナー	メタラクトシンナー		
	希釈率(重量比)	エアレス: 10～30wt% ハケ: 10～30wt%		
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 チップNo.	10MPa(100kg／cm ²)以上 163－517～521	(日本グレイ社製)
上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。 製品改良のため予告なく変更することがあります。				
		作成日	2014. 6. 1.	更新日 2022. 5. 1. ページ(1／2)

メタラクトH15

METALACT H15

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/㎡/回
エアレススプレー塗り	15	125	130
ハケ塗り	15	125	110

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	—	—	—	—	—	
	半硬化	10分	10分	5分	3分	3分	
標準塗装間隔 注)	最短	16時間	16時間	4時間	3時間	3時間	
	最長	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	
可使時間		10時間	10時間	8時間	6時間	6時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用 上塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	速乾サビナイト(F4)、ラスゴンセーフティ(K)
	ハイソリット:	—
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 80℃耐用、長時間 60℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数	
	0	12.7	7.9	【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。 ※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。
	10	11.4	8.8	
	30	9.5	10.6	

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1)高湿度の環境で塗装する場合はブラッシングしやすいので相対湿度80%以上では塗装に注意してください。
2)赤さび、黒さび面へ塗装しても防錆効果が期待できません。
これらのさびは完全に除去してください。
3)アルコール系溶剤以外には溶けにくいので洗浄にも専用シンナーを使用してください。
4)鋼板を連続塗装し、積み重ねる場合は、塗膜をよく乾燥させてください。
5)鋼板を積重ねた状態で屋外に長期間保管する場合は、地面から離し、鋼板の間に雨水がたまらないように
配慮してください。不十分な保管方法では塗膜の白化や発錆の原因になります。
6)没水環境への適用は、耐水性がないため使用できません。
7)エポキシ樹脂塗料の塗り重ねは、原則として避けてください。ただし、タールエポキシ樹脂塗料や
変性エポキシ樹脂塗料は、20℃で7日間以上養生してから塗装してください。
8)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(製品安全データシート)を参照してください。